

事業所名

放課後等デイサービス wacca

支援プログラム（参考様式）

作成日

令和7 年

1 月

16 日

法人（事業所）理念		『社会とつながるwacca』 社会には、人・家庭・地域など多様な輪っかがあります。どこで、だれと、どんなふうにつながっているかは様々で、形もひとつではありません。わたしたちが目指すのは、必要な時に必要なサポートを得られるよう支えあい、つながる社会です。そんな環境の中でかけがえのない経験をしてほしい。と、わたしたちwaccaは考えます。 waccaがそれぞれの”輪っか”の架け橋となりますように。					
支援方針		社会とつながり、豊かな生活ができるように支援します。 そのためにわたしたちができること *子ども+wacca= 子どもの思いに寄り添い、自由な表現ができる場をつくる *家族+wacca= 家族の思いを共有する場をつくり、つながりを広げる *地域+wacca= 子どもたちを支えるネットワークを整え、地域と連携を図る *スタッフ+wacca= お互いを認め合い、わたしたちの生活も充実させる					
営業時間		10 時	0 分から	18 時	0 分まで	送迎実施の有無	あり なし
支 援 内 容							
本人支援	健康・生活	外出イベント(今までしたことのない楽しい体験を行う。交通ルールを守る等、安全に行動する。季節を感じるものをスタッフと一緒に見つける。) 防災訓練(火災訓練、地震訓練等。) 調理体験(食の楽しさを覚える。安全に調理器具を使う。食への興味を広げる。) 環境整備(個々の特性に配慮した物の配置などの環境を整備する。)					
	運動・感覚	工作(手先のトレーニング。自由な発想で創造性を高める。完成出来た満足感を得る) 個別課題(ハサミ練習。ボタンを留める。ファスナーの上げ下げ。) 運動あそび(サーキットトレーニング、ヨガ、マット運動等、楽しく遊びながら体幹や足腰を強化し、衝動性を抑えられるようになる。)					
	認知・行動	外出(それぞれの公共施設でのルールを守る。) 個別課題(文字、数、表情・気持ちの理解等、楽しく行える課題の提供。) 視覚支援(スケジュール提示、タイマー提示で自立を促す。)					
	言語 コミュニケーション	始まりの会・帰りの会(挨拶をする。お話を聞く片付けをする。座る。見る。他者の誕生日を祝う。) コミュニケーションによる成長(遊びたいときに遊びたい人の名前を読んだり、非言語的コミュニケーションで適切に伝える。誤学習を適切な学習に変えていく。)					
	人間関係 社会性	集団活動(人間関係の構築、同じ場を共有する、職員・他利用者と一緒に遊ぶ、お話を聞く、待つ、座る。) ルールのある活動(散歩<<交通ルール>>、ごっこ遊び、買い物<<お昼ご飯のお金の支払い・計算>>、社会見学など。)					
家族支援		保護者面談(半年に1回) 保護者交流会(年に1回) 関係機関会議(必要な場合に随時)		移行支援		進学先、就労先、相談支援事業所との情報共有	
地域支援・地域連携		各関係各所との連携(相談支援事業所、学校、放課後等デイサービス、こども家庭センター等) 関係機関交流会(年に1回)		職員の質の向上		研修期間あり(採用後6か月間) 外部研修(年2回) 内部研修(年12回)	
主な行事等		外出イベント・各季節イベント行事・誕生日イベント・卒業式					